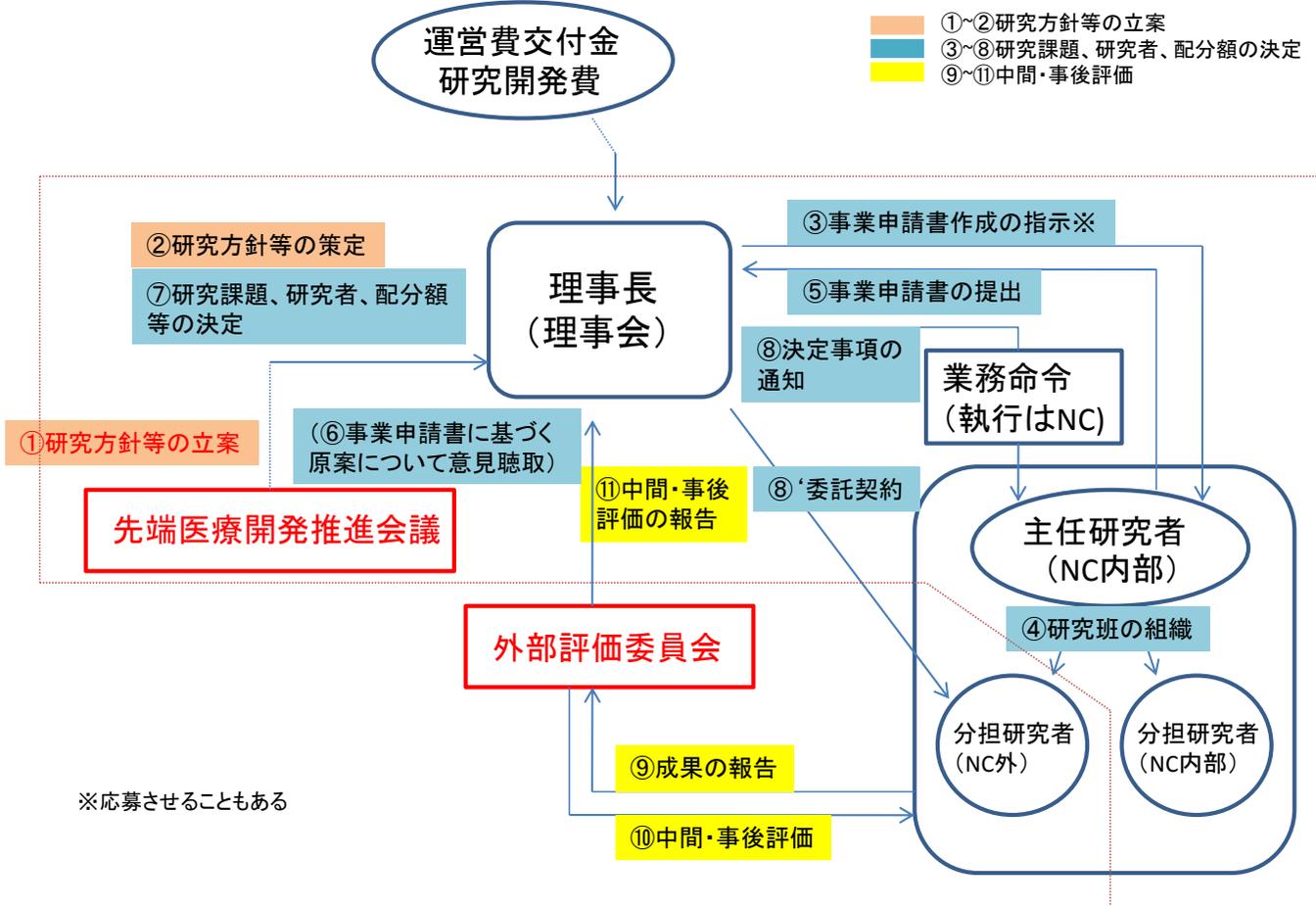


## がん研究開発費の実施体制の大幅見直しについて

平成 22 年度より、旧・がん研究助成金は独立行政法人国立がん研究センター運営費交付金研究開発費（がん研究開発費）として措置された。その適正な執行を行うため、実施体制を以下の通り大幅に変更する。

今年度（がん研究開発費）	昨年度（がん研究助成金）
<p>（執行体制） 研究企画・事前評価を行う先端医療開発推進会議（内部組織）と研究の中間・事後評価を行う外部評価委員会（外部組織）を設置。</p>	<p>運営委員会（外部委員及び内部職員から構成）が、研究企画・事前評価委員会及び中間・事後評価委員会を兼ねていた。</p>
<p>（研究の範囲） 国立がん研究センターの使命として行う研究を明確にする。</p>	<p>研究課題のイメージを参考提示したのみであった。</p>
<p>（研究企画） 先端医療開発推進会議の専門部会において、大きな研究テーマ枠を設け、採択方針を示して、そのなかで自由な研究計画をセンター内から募集する。</p>	<p>運営委員会の各委員が新規研究課題の提案（主任研究者案を含む）を提出していた。</p>
<p>（事前評価） 研究テーマ枠毎に、先端医療開発推進会議専門部会の構成員から数名の評価者を選任して、研究計画の事前評価（ピアレビュー）を行う。</p>	<p>運営委員会の全委員が全研究計画の事前評価を行っていた。</p>
<p>（中間・事後評価） 研究分野毎に、外部評価委員会の構成員から数名の評価者を選任して、研究報告の中間・事後評価（ピアレビュー）を行う。</p>	<p>運営委員会の全委員が全研究報告の中間・事後評価を行っていた。</p>

# 研究開発費の執行体制



# 3つのがん研究費

## がん研究助成金

配分機関: **国立がんセンター**  
21年度研究費: 約19億円



## 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業

配分機関: **国立がんセンター**  
21年度研究費: 約26億円



配分機関: **厚生労働省**  
(健康局総務課がん対策推進室)  
22年度研究費: 約26億円

## 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業

配分機関: **国立がんセンター**  
21年度研究費: 約19億円



配分機関: **厚生労働省**  
(健康局総務課がん対策推進室)  
22年度研究費: 約19億円

## 独立行政法人国立がん研究センター 運営費交付金研究開発費(がん研究開発費)

22年度研究費: 約20億円

海外出張、雇用等を含め用途をすべてチェック